



子どもの携帯・スマホ等の管理は 保護者が責任をもって行いましょう！



携帯電話やスマートフォン等により、いつでも・どこでも・誰とでもやりとりができるようになりました。複数の友だちと会話ができるアプリ（SNS）などもあり、参加者限定のグループをつくって楽しんでいる人もたくさんいます。

ところが、決まった参加者しか読めないアプリやサイトのやりとりは、いじめにつながる書き込みがあっても発見しづらいという欠点もあります。このため、ターゲットにされた人が深く傷つき立ち直れなくなってしまうことも少なくありません。

また、スマートフォンの普及により、インターネットへの接続がより手軽になり、楽しさや便利さが増えた反面、有害サイト、出会い系サイトへの接続、ゲームによる多額請求、等の被害が増加しています。

これらのトラブルから子どもを守るため、家庭で使い方のルールを話し合い、保護者が責任をもって、フィルタリング機能やアプリ内の課金制限をおこなうことが大切です。

こんなことが問題です

- ・無料通信アプリケーションを使いグループ内で仲間はずれにする。
- ・深夜まで使用することで寝不足や体調不良により学習に悪影響をあたえる。
- ・友だちの写真やプロフィールを本人に断りもなくSNSに掲載し、トラブルに発展。
- ・有害サイトにアクセスしたり、ネットゲームの課金制度による多額請求。

家庭でできること

家庭での約束を決めて使用させるようにしましょう。

家庭での約束事

- 1 人を傷つける書き込み・投稿はさせない！ 返信の強要をさせない！**
それほど悪気はなくても悪口を書かれた人は想像以上につらいものです。また、内緒でグループから外すようなことも相手の心を傷つけます。
- 2 午後9時以降の使用をさせない！ 1日2時間まで！**
学習時間や睡眠時間を確保し、相手やその家族への気遣いを忘れず、お互いの生活を守りましょう。
午後9時以降は保護者が機器を預かるのも効果的です。
- 3 自転車に乗りながらの使用はやめさせる！**
自転車に乗りながらの使用で、3年間で2回摘発された運転者（14歳以上）には、刑事処分とは別に3時間の講習を受講する義務が発生します。
- 4 フィルタリング機能をつけ、有害サイトにアクセスさせない！**
有害サイトから子どもを守る最も有効な手段です。
アプリ内の課金を制限しましょう。

インターネットの適切な利用を把握することは保護者にしかできません。

学校での取組

- ・技術の授業や道徳、学級活動、全校集会などの時間に、インターネットの危険性や使用する際のルールやマナーについての指導を行っています。
- ・鳴門警察署や携帯電話会社等の専門家を講師とした「携帯電話安全教室」を実施し、携帯電話やスマートフォン等の安全な使用について指導しています。
- ・学校だより等で使用するにあたって、家庭でのルールづくりを呼びかけています。